

浦川原区有島で避難勧告、石沢、西田中などに避難指示 台風被害、住家6、非住家7、道路67、農道39件、人的被害なし

台風18号は16日、上越市内でも雨や風などによる被害をもたらしました。幸い、人的被害はなかったものの、一部の住家、道路、農地、農業用施設などに被害が出ました。

市の防災危機管理部が19日に明らかにした被害状況は、建物被害は住家6、非住家7、公共施設12の合計25件。道路は67件、河川6件、農道39件、林道32件、農地31件、農業用施設40件、農作物22件、土砂災害7件、倒木などその他が16件でした。なお、人的被害はありませんでしたが、牧区田島の飯田川で作業中の男性が中州に取り残される事態も発生しましたが、無事救出されました。

この台風で上越市は16日、午前10時45分には大雨災害警戒本部を設置、同日午後0時20分には大雨災害対策本部に切り替えました。13区総合事務所でも現地対策本部が設置されました。対策本部からは防災無線などで何度も避難準備



備情報などが市内全域に流されるとともに、被害状況の把握と対策が講じられました。先日の総合防災訓練で初めて公開されたテレビを使った対策本部会議も何度も開かれました。矢代川流域、保倉川流域では避難勧告や避難指示が出され、63人の人たちが避難所や町内会館などの自主避難場所に避難しました。

17日の市議会総務常任委員会では、災害状況などを視察してきた委員などから、市役所の対応を評価しつつも、いくつかの問題点や課題を指摘する声がありました。

具体的に書きますと、「同時に、条件なしに別のことが情報伝達される事例があった。家にいた方がいいのか、避難所に行くべきか迷った人たちがいた」「矢代川上流に何カ所か危険な所があるのではないか。ハザードマップを作成し、公表すべきだ」「水戸の門で開け閉めのパソコンが壊れていた。いざというときに壊れて

いたではすまない」「飯田川で作業員が取り残されたというが、業者などへの情報伝達はできていたのか」などといった発言です。これに対して防災危機管理部の幹部は、「今回は雨や風の状況を見て迷った（ところもある）。検証を通じて必要な対応をとっていきたい」と答えました。

今回の豪雨で日本共産党議員団は、3人が活動地域を分担して動きました。私は午前中は中学時代の同級生、Sさんの葬儀に参列し、家に戻って防災服に着替え、夕方まで被害状況の把握、現地災害対策本部訪問などで動きました。

私が動いたルートは吉川区、浦川原区、大島区、安塚区、牧区、三和区、頸城区、柿崎区です。広い地域のため、行けなかったところもありました。この点、お許しください。

なお、今回の災害関連でお困りのことがございましたら、遠慮なく、私の携帯電話までお知らせください。

(写真は上から、浦川原区有島下流、牧区の落田・榎谷間、テレビ会議の準備をする大島区総合事務所幹部)

私の一般質問は25日の午後3時頃からの予定です。

今議会の一般質問には17人が登壇します。私は15番目です。総合事務所産業建設グループの集約、デマンドバスの問題で質問します。質問の時間は早まることもあります。



【ナンテンハギ】漢字で「南天菽」と書きます。マメ科。花は赤紫色。この若芽が山菜、「アズキノバ」であることを知ったのは今年の春でした。お浸しにして食べると美味しい。写真は大島区板山にて。

橋爪のりかずの
市政レポート

NO 1623
2013.9.22

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 025-548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

左記の電話が通じない時、こまった時は橋爪法一の携帯電話へ
090-5392-1961

なんと行っていいかわからないほど温かな視線でした。安塚区のラーメン屋・どきん娘さんの入り口付近の席にちよこんと座って、じっと私の方を見ている七〇歳前後のお母さんのことです。目はやさしく笑っていました。

私がどきん娘さんに入ったのはお昼の遅い時間帯です。カウンターの席に一人、畳が敷かれたテーブル席に三人のお客さんがいました。このうち入り口付近にいたお客さんが早く帰り、入れ替わりにこのお母さんが入ってきたのでした。

入ってくるなり、お母さんは「冷やし中華をお願いします」と注文したのですが、このラーメン屋さんでは冷やし中華をすでにやめていました。この日は久しぶりの好天で、しかも湿度がとて高かったんです。冷たいものが食べたかったのでしょうか。温かいラーメンに切り替えて注文したお母さんでしたが、がっかりした表情を見せることなく、静かに出来上がりを待っていました。

この日は土曜日でした。しかも、雨が続いた後に晴れた土曜日です。稲刈りを急いでいる稲作農家はもちろんのこと、晴れの日を想定して仕事をしている人たちはみんな、チャンス到来とばかりに一生懸命働いていました。

一番奥のテーブル席に座った私は塩ラーメンを注文しました。そして何気なしに隣のテーブル席を見たら、驚きましたね、私知っています建具職人さんです。その人が、いかにも職人さんらしい人と一緒に食事をしていました。どうも、この晴れの天気の中、このお二人さんは一緒に仕事をしているようでした。

もし、その「建具職人」さんが私の知っている人であれば、吉川区尾神出身で、現在大潟区在住のTさんです。私の顔を見れば、何らかの反応をするに違いない、そう期待したのですが、すぐには反応がありませんでした。でも、なんとなく私を知っている感じがしました。私に直接目を向けられないで、それとなく私が誰かを確認したがつている、そんな視線を感じたのです。

言うまでもなく、こういう時はなかなか落ち着きません。ラーメンを食べていた時間も気になりました。時どき、ちらっと隣の二人に目を向けたり、二人の会話にヒントがないか探りました。私が隣の席の方へ目を向けると入り口の席にいるお母さんが私の様子を見ていることがわかりました。このお母さんも私が誰かを確認したかったのかも知れません。

ひよっとすると、私が太ったことで、「建具職人」さんが判断できずにいるのではないか、そう思ったのはラーメンを半分くらい食べたころです。直接聞くのも変だし、店長さんと一緒に店をやっているMさんに語りかけるような調子で、わざと、「尾神」という地名を言ってみました。すると、どうでしょう、Tさんらしき人が店員さんに「(その人、)橋爪さんと違うかね」と尋ねていたのでした。

「そうです、そうです、橋爪さんです」というMさんの返事が聞こえました。すぐに、私からも声をかけました。「やはり、Kちゃんか、おまん、目、とちやとそっくりだわ」そう言うてから、しばらく楽しい会話が続きました。Tさんも気にしていません。

入り口のお母さんも私たちの会話を聞いてうれしそうでした。後でわかったのですが、このお母さんは大島区菖蒲在住、「ばんや亭」で会った人でした。四年前にお連れ合いを亡くし、豪雪のなかでも一人でがんばっていたお母さんだったのです。

ドクターヘリの離着陸場が追加されました

朗報が入りました。6月議会の一般質問で、私は上越市内のドクターヘリの登録離着陸場（ランデブーポイント。救急車とドクターヘリが合流する場所）を増やすよう求めています。

したが、このほど、ランデブーポイントとして9カ所、準ランデブーポイントとして2カ所追加されたことがわかりました。

ランデブーポイントで追加されたのは、①光が原高原旧駐車場（板倉区）、②光が原高原テニスコート駐車場（板倉区）、③スカイトピア遊ランドグラウンド（吉川区）、④吉川地区公民館川谷分館グラウンド（吉川区）、⑤安塚和田スポーツ公園グラウンド（安塚区）、⑥菱里地域生涯学習センターグラウンド（安塚区）、⑦安塚小学校グラウンド（安塚区）、⑧安塚中学校グラウンド（安塚区）、⑨棚広新田多目的広場（牧区）です。この結果、上越市内のランデブーポイントは103カ所になりました。

準ランデブーポイント（登録基準に該当しないものの、

有効な場所としてドクターヘリに情報提供する施設）として追加されたのは、①大島あさひ荘ゲートボール場（大島区）、②マウンテンリバー川上笑学館（牧区）です。

6月議会での私の質問に村山市長は、「ドクターヘリのランデブーポイントは増設に向けて上越地域消防事務組合と連携して取り組む」「ランデブーポイントがどこにあるかは市のホームページから見られるようにする」「ドクターヘリの相互応援協定山形、福島両県だけでなく、長野県とも結ぶよう県に働きかける」などと、答弁していました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だと

	9月11日(水)	9月18日(水)
上越南消防署	0.036	0.030
上越北消防署	0.053	0.050
新井消防署	0.053	0.040
頸北消防署	0.043	0.040
頸南消防署	0.050	0.040
東頸消防署	0.043	0.043
高士分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.050	0.043

